

介護現場から問う。 人間と老い、介護保障

老いたるものの晩年の日々を、どこまで、どのように支えていく覚悟がわたしたちにはあるのだろうか。社会のお世話にならないようにして、亡くなっていく。そんなことを理想としながら老いていく。もしくは誰にも迷惑をかけないようにと施設に入るなり、入れられることとなって、機械に管理された閉ざされた日々を受け入れる。そうした選択肢で良しとするしかないのか。介護保険の限界と、介護と共にあると私たちの心の限界と。

このたびのセミナーが、そんなことを正直に語り合えるようになるためのきっかけとなっていくように、ここに開催いたします。

令和5年7月21日(金)
18:30 ▶ 20:30

場所

千葉県社会福祉センター2階 研修室A
(千葉県千葉市中央区千葉港4番5号)

※駐車場は原則使用できませんので、ご承知おきください。

参加費

無料

プログラム

18:30 ~ 19:20 (50分)

基調講演 村瀬 孝生 「自由と介護」

19:20 ~ 20:00 (40分)

シンポジウム 村瀬 孝生・清水 正美・安西 順子・伊藤 英樹
「介護現場から問う。人間と老い、介護保障などについて」

20:00 ~ 20:30 (30分)

質疑・意見交換 会場から

登壇者

村瀬 孝生 「宅老所よりあい」代表

1964年生まれ。1990年代初頭より介護職として働き始め、より濃密な介護関係を志し、特別養護老人ホームから、小規模の介護施設である宅老所をはじめる。

昨年、医学書院から出版された「自由とシンクロ」は介護職からの新しい価値観の提示として、各種メディアから高い評価を受ける。

清水 正美 城西国際大学福祉総合学研究科 研究科長

安西 順子 「宅老所ひぐらしのいえ」代表 看護師

伊藤 英樹 「井戸端介護」代表 社会福祉士

申込方法

Googleフォームにて必要事項を入力の上、お申込みください。

▶ <https://forms.gle/1TtnW5yffu3u9dyTA>

お申込みはこちら ▶

